

西国三十三霊場巡りマラニック 第十二番 岩間山 正法寺(岩間寺)

十九年十一月九日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

泰澄和尚が女帝元正天皇の厄年の病気を法力で平癒させた褒美として、養老6年(722年)に勅命により建立されたのがこの寺の創始と伝えられる。泰澄大師は加賀白山を開いたことでも知られている。宗派は真言宗醍醐派、本尊は千手観世音菩薩である。上醍醐寺から巡礼古道を辿って2時間、やっと「ぼけ封じ」で有名な岩間寺に着くことができ、私のぼけを封じて下さるよう祈願した。本堂に隣接して東側に小さな池があり「芭蕉の池」と呼ばれている。松尾芭蕉はこの寺の観音を信仰し、供養塔を建立したところ、忽ちにして靈験を蒙り、有名な句「古池や蛙飛び込む水の音」が世に出たとされている。この句にある「古池」がこの池であるという。今回の西国三十三霊場観音マラニックはここで終了し夕闇迫るJR石山駅に向かって下って行った。

